

# 広報 な か わ だ 2022年 8月



第502号

中和田カトリック教会 広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel (045)803-6141

2022年8月7日

<https://nakawada-catholic.com>



## 祝 聖母の被昇天

フランシスコ・ザベリオ 日野武満神父

耐えがたきを耐え、忍びがたきを忍び・・・万世のために太平を開かんと欲す・・・  
(昭和天皇勅諭)

第二次世界大戦が終了し、77年の平和が続いている日本の国が8月15日の聖母の被昇天[カトリック教会]のお祝い日に当たることは、平和の元后として私たちが主に願い、その願いを聖母マリアによって果たされることと信じています。

この春から続いているロシアーウクライナ戦争が一日も早く終わるように、聖母マリアの取り次ぎを祈りましょう。



### 教会ごよみ(8-9月)

	日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
8月	7	日	主日ミサ(9:00)	年間第19主日	<u>全地区 (担当: 第1地区)</u>
	13	土			教会委員会(10:00)
	14	日	主日ミサ(9:00)	年間第20主日	<u>全地区 (担当: 第2地区)</u>
	15	月	祭日ミサ(10:00)	聖母の被昇天[祭]	<u>全地区 (担当: 全地区)</u>
	21	日	主日ミサ(9:00)	年間第21主日	<u>全地区 (担当: 第3地区)</u>
	28	日	主日ミサ(9:00)	年間第22主日	<u>全地区 (担当: 第1地区)</u>
9月	4	日	主日ミサ(9:00)	年間第23主日	<u>全地区 (担当: 第2地区)</u>
	10	土			教会委員会(10:00)
	11	日	主日ミサ(9:00)	年間第24主日 (式次第練習日)	<u>全地区 (担当: 第3地区)</u>
	18	日	主日ミサ(9:00)	年間第25主日 (敬老ミサ)	<u>全地区 (担当: 第1地区)</u>
	25	日	主日ミサ(9:00)	年間第26主日 (式次第練習日)	<u>全地区 (担当: 第2地区)</u>

※初金、週日ミサ、主日以外の祝祭日ミサは記載の日を除き9月末まで行いません。

※9月の第2、第4(日)は、ミサ後に「新しいミサの式次第」の練習を行います。

## **「新しいミサ式次第」の練習を行います**

**典礼委員会**

皆様ご承知のように今年の待降節第一主日（11月27日）から新しいミサの式次第が使われることになりました

第二バチカン公会議でラテン語から各国の言葉でミサが行われることになり、日本でも1978年以来現在のミサ典礼書が使われてきました。この日本語版はローマ・ミサ典礼書の全訳ではなかったため、バチカンから暫定的な認証を得て使用されてきたものです。その後ローマ・ミサ典礼書も第三版となり、全訳作業も継続されてきました。その中の一部の日本語訳がこのたびバチカンから認証され、今後「ミサの式次第と第一～第四奉献文」として使用されることになったわけです。（入祭唱、公式祈願、叙唱、拝領唱等は当面従来のを継続使用します。）

日本全国で一斉に切り替わりますが、これまで慣れてきた式次第から色々変更もありますので、中和田教会では混乱のないよう9月から練習を開始したいと考えております。練習はミサ終了後皆さんで変更箇所の確認、読み合わせなどを実施し、可能であればビデオなども使って変更の背景や考え方などの学習もできればと考えております。ミサ後の時間をあまりつぶさないよう、できるだけ効率的に練習部分を分けて実施する等工夫致しますので、皆様どうぞ御参加のほど宜しくお願い申し上げます。

9月に新しい式次第の資料（公式の冊子は後日）を配布しますので、練習日にはお持ち下さい。

なお、練習日は9月、10月の第2、第4日曜日、11月の第1、2、3日曜日、計7回を予定しております。

## **「神の愛を証しする力を育てる」**

**～私たちにできること～**

6月11日（日）に開催された第五地区および近隣教会地区福祉交流会にて「神の愛を証しする力を育てる」部門の担当司祭石渡神父様が各小教区の福祉部と懇談をお持ちになりたいとの提案があり、調整の結果7月13日（水）午後1時半より中和田教会にて懇親会を持つ運びとなりました。

当教会からの参加者は福祉G 5名、小野委員長、私は証し部門の担当委員として、また進行役として参加させていただきました。

石渡神父様の自己紹介に続き参加者の自己紹介、その後は参加者から中和田、福祉Gの活動の振り返りと現状を報告していただきました。石渡神父様からも藤沢教会の福祉部の活動を紹介していただきました。教会員が当教会の10倍ほどとあって内容は大規模でありながら、きめ細やかにウクライナ支援を始め今の世相に寄りそった活動をなさっていることが伝わってきました。

中和田からは「ホームレスへの支援は細々でも続けていくことが大切だ」「受刑者との文通を続けている」「長年活動しているので是非とも若い方たちに交代してほしい」などの発言がありました。

最後に日野神父様をお呼びしてお茶の時間を持ちました。日野神父様と談笑されている石渡神父様のご様子を拝見しておりましたら親子のような親しさが感じられ私まで嬉しくなりました。しばしば日野神父様のお説教の中に石渡神父様のお話がありましたので、そのご縁もあってか小教区の中で一番に中和田との懇親会が実現できたのかもしれない。

中和田教会の「神の愛を証しする力」を福祉グループに限らず、私たち一人ひとりが共同体の一員として更に育むことができますように。中和田教会に目を留め、出向いてくださった石渡神父様に心より感謝を申し上げます。

（今井暁子）



## 「モンテッソーリ教材を使った教授法」の勉強会が始まりました

6月25日（土）に中和田教会で「モンテッソーリ教材を使った教授法」の勉強会が行われました。

講師は日野神父様で第1回目は大和教会の信徒3名、中和田教会の信徒3名計6名の参加でした。

日野神父様は1984年から1986年までイタリアで子供の宗教教育（マリア・モンテッソーリ）研修を受けられました。そこで習得された教授法を私たちに伝授してくださる勉強会です。実物教材は以前から保存されていたので、それを使って具体的に説明していただきます。

2000年以上も前のことで日本からは遥か遠い地域の出来事ですから想像することも難しいですが、日野神父様は具体物を手に取って分かりやすく説明していただきました。これだと子供達も大人でも楽しく理解できます。

最後の晩餐と祭壇の関係、司祭の着る祭服の色の意味、一年間の暦板、モーゼの律法、イスラエルの地図、イエス様のたとえ話に出てくる「良い牧者と羊」の模型などの使い方を説明されました。

これからも興味のある方は見学なさってください。



## 委員会だより (文中敬称略)

<7月教会委員会> (7月9日(土) 14名出席)

### 1. 日野神父様のお話

- ・昨日は元首相が銃撃され死去するという大きな事件がありました。民主主義国であり、安全である日本で起きてしまいました。コロナの感染者数がまた増えてきています。

### 2. 「教会委員会」の運営について(小野委員長)

- ・(小野委員長) 先月からの議論を引き続き、教会全体の運営についての議論をする必要がある。K教会の組織の事例を参考にして中和田教会に合った体制を考える必要がある。各委員さんで組織の枠組み案を提案してください。

#### ① (岩渕(英)) 「新しいグループ編成について」 (資料参照)

- ・中和田教会のように小規模の教会でも無理なく活動できる組織、シンプルでわかりやすい組織、司教様の要請に応え「〇〇の力を育てる」ことを意識できるような仕組みにしていく。
- ・現状あるすべての活動やグループ、および新たに発足すべき活動やグループを網羅する。
- ・グループのくくりとして、5つの部門を設ける。「祈る力を育てる部門」、「信仰を伝える力を育てる部門」、「神の愛を証しする力を育てる部門」、「つながりを深める部門」、「教会を維持していく部門」である。

(意見)

- ・中高生の会がもっと活動してほしい。
- ・良い提案だが、代表が固定しないで全てのものに出入りできるようになってほしい。
- ・NEXTの会がうまく分けられていて良い。
- ・「マリアカフェ」は神の愛を証しする力の方に区分けして欲しい。

#### ② (小野委員長) 「中和田教会：運営体制の改正」 (資料参照)

中和田教会は小規模であり、大規模教会と同じような組織運営はできないと考える。

- ・コンパクトに、そして“ゆるく”組織化された共同体 (=協働体)
- ・自由で柔軟な風土
- ・行き過ぎた“機能別体制”変調の是正
- ・どこにも“壁”のない風土

・宣教・司牧活動体制としても、3部門を別々にグループ化して活動することは中和田には馴染まない。むしろ全てを、「宣教司牧G」のように一つに纏めるほうが現実的である。

- ・中和田は教学系が欠けている。養成者を増やすこと、洗礼後の勉強会を行う必要がある。

(結論)

- ・二つの提案は表現の仕方は違うが基本的な考え方は似ている。これから煮詰めていく必要がある。
- ・以上の議論を踏まえて、次回から「①岩渕案」をベースに、さらなるブラッシュアップ、深掘り、具体化を討議・検討していく。

### 3. 連絡・報告・審議事項など

#### ■財務(小野委員長)

- ・6月度の一般会計、建設会計、愛の献金の会計報告が行われた。
  - ・また、2021年度実績に基づく月定献金納入者の年齢分布表、動向纏め資料の詳細が説明された。
  - ・建設会計の教区への返済金の次世代への負担を極力軽減したいので、現在の(長期借入金4,200万円の)返済計画にさらに「400万円の前倒し返済」を加えた計画に変更することを教区に提案したい。
- ⇒了承された。

#### ■行事(磯田)

- ・敬老の日の祝いの内容を相談したい。
- ⇒パーティーはしない。該当者にお祝いの神父様からのカードと記念品(クオカード)を贈る。

#### ■一粒会(井上)

- ・神学生との交流会についての実施方法のアンケートがきたが、コロナのため中止とした。

#### ■典礼(岩渕)

- ・新しい「ミサの式次第と奉献文」等のDVDと冊子をもとに9月から練習をするので詳細は知らせる。

#### ■宣教司牧委員会(今井副委員長)

- ・広報7月号の3頁上段に「祈り部門」からの報告をのせたので感想などありましたら内藤さんに知らせてほしい。

#### ■建設委員会(滝川)

- ・マリア像緑環境作りについて、条件に合う常緑樹があったら関係者に教えてください。次回検討結果を提案する。

<次回委員会 8月13日(土)> 以上